

2017年度事業報告書

公益財団法人 小野医学研究財団

当財団は1988年11月21日に厚生大臣の認可を受け設立し、2011年3月28日付、内閣府より設立の認可を受けて、設立登記日：2011年4月1日、公益財団法人へ移行し、定款に定められた事業を開始した。2017年4月1日より2018年3月31日までの2017年度の事業活動として、定款第3条の脂質代謝異常の分野に関する研究助成、褒章を行うほか各種事業を推進し、この分野の治療、研究の振興を図り、もって国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とした第4条の事業のうち、下記の事業を実施した。

2017年度事業

2016年11月30日に開催された第19回理事会において、2017年度の事業が決定され、その事業計画に基づき次の通り実施された。

1. 研究助成事業・・・応募期間：2017年6月1日～7月31日

研究助成および研究奨励助成（2017年6月1日現在満40歳以下の研究者）については、医学・生命科学系の研究機関（大学・研究所等）298軒、および当財団理事、評議員に推薦を依頼し、また募集要項を財団ホームページに掲載した。更に広く募集を行うために、日本脂質生化学学会ホームページに掲載するとともに会員一斉メールを行った他、日本内分泌学会メールマガジンに配信、各ホームページ[JST 広報ポータル部サイエンスポータル、大学病院医療情報ネットワーク (UMIN)、日本炎症・再生医学会、日本細胞生物学会、日本神経学会、日本生化学会、日本生理学会、日本糖尿病学会、日本分子生物学会、日本免疫学会、日本薬学会、日本薬理学会、羊土社]、および各6月発刊号（公益法人協会、実験医学、日本循環器学会会告、日本動脈硬化学会学会誌 News & Scope）に掲載して、候補者の受付を行った。応募課題については、当財団の選考委員会（8名）で審査した後、選考委員会で選出、理事会で決定、承認を得て助成者を決定した。

12月20日ニュースリリースするとともに当財団ホームページに掲載した。

(1) 第30回研究助成 応募件数 79件、助成件数 12件、採択率約 15.2%

(2) 第26回研究奨励助成 応募件数 67件、助成件数 16件、採択率約 23.9%

（助成者は別掲3-4頁の通り）

研究助成・研究奨励助成の推移【過去10年間】

応募件数	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
研究助成	67	66	56	54	60	64	73	76	94	79
研究奨励助成	67	58	61	56	46	62	83	53	84	67
合計	134	124	117	110	106	126	156	129	178	146

助成件数	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
研究助成	7	7	7	7	10	10	10	10	12	12
研究奨励助成	10	10	10	10	10	10	20	10	16	16
合計	17	17	17	17	20	20	30	20	28	28

採択数	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
研究助成	10.4%	10.6%	12.5%	13.0%	16.7%	15.6%	13.7%	13.2%	12.8%	15.2%
研究奨励助成	14.9%	17.2%	16.4%	17.9%	21.7%	16.1%	24.1%	18.9%	19.0%	23.9%
合計	12.7%	13.7%	14.5%	15.5%	18.9%	15.9%	19.2%	15.5%	15.7%	19.2%

2. 褒章事業(早石修記念賞)・・・推薦期間：2017年6月1日～8月31日

早石修記念賞については、当財団の指名する下記13学会および当財団理事、評議員に推薦を依頼した。

日本炎症・再生医学会、日本細胞生物学会、日本脂質生化学会、日本循環器学会
 日本神経学会、日本生化学会、日本生理学会、日本糖尿病学会、日本動脈硬化学会
 日本分子生物学会、日本免疫学会、日本薬学会、日本薬理学会

推薦書については、当財団の早石修記念賞選考委員(常任委員5名、外部委員2名)で審査した後、選考委員会で選出、理事会で決定、承認を得て受賞者を決定した。

第1回早石修記念賞

《受賞者》 竹縄 忠臣博士

《所属機関および役職》 神戸大学大学院医学研究科 分子細胞生物学分野 客員教授

《受賞対象となった研究業績》 イノシトールリン脂質情報伝達概念の確立

3. 研究成果発表会

2017年6月3日、千里ライフサイエンスセンターにおいて、第28回(2015年度助成者)研究成果発表会を開催した。研究成果発表は、研究助成者10名のプレゼンテーションおよび研究奨励助成者10名のポスター展示ならびに2016年度助成対象者の報告を行った。医学・生命科学系研究機関にポスターを送付し、参加者を募集した。

場 所 千里ライフサイエンスセンター 5階サイエンスホール (ポスター展示：5階ライフホール)

日 時 2017年6月3日(土) 12時20分～18時20分

参加者 110名

4. 研究成果概要のデータベースへの登録

2015年度助成成果報告を助成財団センターを通じて国立情報学研究所のデータベースに登録し公開した。(6月：当財団ホームページからも閲覧可能)

第 30 回(2017 年度)研究助成対象者 12 名

助成額：1 件につき 200 万円（五十音順、敬称略）

氏 名 (五十音順) (敬称略)	役 職	施 設 名 科 名	課 題 名
えんどう ゆうすけ 遠藤 裕介	特任講師	千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学教室	脂質代謝による病原性 Th2 細胞の制御と炎症性アレルギー疾患の新たな治療戦略の創出
おおいし ゆみこ 大石 由美子	准教授	東京医科歯科大学難治疾患研究所 細胞分子医学分野	転写とエピゲノム制御を基盤としたオメガ 3 脂肪酸の炎症抑制機序の解明
おぐら まさつね 小倉 正恒	脂質代謝 研究室長	国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部	コレステロール排泄機構の破綻と動脈硬化に共通する脂質分子の探索
くにさわ じゅん 國澤 純	プロジェ クチャー リーダー	医薬基盤・健康栄養研究所 ワクチンマテリアルプロジェクト	生活習慣病の改善に寄与する脂質代謝物の同定と作用メカニズムの解明
すずき じゅん 鈴木 淳	教授	京都大学 高等研究院 物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS)、鈴木グループ	細胞内リン脂質スクランブラーゼとその異常による疾患の解明
せきや もとひろ 関谷 元博	講師	筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科	エネルギー代謝産物センサー分子を軸にした新しい代謝制御システムの解明と医療応用
ただ はやと 多田 隼人	助教	金沢大学附属病院 救急部・循環器内科	家族性高コレステロール血症に対する遺伝子解析スキームの確立
とみ まさとし 登美 斉俊	教授	慶應義塾大学薬学部薬剤学講座	胎盤プロスタグランジントランスポーターが胎盤成熟と陣痛発来制御に果たす役割の解明
はっとり みつはる 服部 光治	教授	名古屋市立大学大学院薬学研究科 病態生化学分野	神経細胞の脂肪酸組成を制御する新たな分子機構と、その疾患との関連解明
ふるやしき ともゆき 古屋敷 智之	教授	神戸大学大学院医学研究科 薬理学分野	コカインにより制御される脳内の新規生理活性脂質の包括的探索と作用機序の解明
やまもと けい 山本 圭	准教授	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 生物資源産業学域	プラズマローゲン型リゾリン脂質代謝系による表皮肥厚性疾患の分子メカニズムの解明
よしはら よしひろ 吉原 良浩	チーム リーダー	理化学研究所 脳科学総合研究センター	性フェロモンとしてのプロスタグランジンの機能解明

第 26 回（2017 年度）研究奨励助成対象者 16 名

助成額：1 件につき 100 万円（五十音順、敬称略）

氏 名	役 職	施 設 名 科 名	課 題 名
あおき ともひろ 青木 友浩	室長	国立循環器病研究センター研究所 分子薬理部	脳動脈瘤進展の相関因子としての病変部での 脂肪蓄積と泡沫細胞の同定
いしはら ともあき 石原 知明	研究員	理化学研究所 統合生命医科学研究センター メタボローム研究チーム	皮膚組織の恒常性制御における脂肪酸代謝系 の役割の解明
いとう あやか 伊藤 綾香	特任助教	名古屋大学環境医学研究所 分子代謝医学分野	全身性エリテマトーデスにおける免疫細胞内 リポクオリティの病態生理学的意義の解明
いのうえ やすみち 井上 靖道	准教授	名古屋市立大学大学院薬学研究科 細胞情報学	SREBP タンパクの安定性を制御する新規脱ユ ビキチン化酵素の同定と治療への展開
おおた あかね 太田 茜	特別 研究員	甲南大学理工学部 統合ニューロバイオロジー研究所 生体調節学研究室	脳神経系の脂質代謝が身体全体の温度馴化を 制御する
こんどう くにお 近藤 邦生	助教	自然科学研究機構 生理学研究所 生体機能調節研究領域 生殖・内分泌系発達機構 研究部門	脂質代謝を制御する視床下部からの神経回路 の解析
さいとう こうた 齋藤 康太	助教	東京大学大学院薬学系研究科 生理化学教室	カイトロミクロン分泌機構の解析
さとう けい 佐藤 佳	講師	京都大学ウイルス・ 再生医科学研究所 システムウイルス学分野	腸内フローラに起因する脂質代謝の変動とウ イルス感染病態の相互関連性の解明
しおみ ひろき 塩見 紘樹	特定病院 助教	京都大学医学部附属病院 循環器内科	次世代シーケンサーを用いた家族性高脂血症 関連遺伝子のゲノム解析
しらかわ じゅん 白川 純	助教	横浜市立大学大学院 医学研究科 分子内分泌・糖尿病内科学	細胞外マトリックスタンパク Fb1n-5 による皮 膚の脂肪酸代謝を介したインスリン感受性制 御機構の解明
たむけお だいん Thumkeo Dean	特定 准教授	京都大学大学院医学研究科 創薬医学講座	皮膚バリア機能異常を特徴とするアトピー性 皮膚炎におけるリゾホスファチジン酸の役割 解明
みやた のん 宮田 暖	助教	九州大学大学院 理学研究院化学部門	新規ミトコンドリア外膜-内膜接触部位を介 したミトコンドリア内リン脂質輸送
みやの かなこ 宮野 加奈子	研究員	国立がん研究センター研究所 がん患者病態生研究分野	血小板活性化因子 PAF pain loop をターゲッ トとした新規鎮痛薬の開発
むらまつ りえこ 村松 里衣子	准教授	大阪大学大学院医学系研究科 分子神経科学	中枢神経系の脂質代謝異常による神経症状の 改善メカニズムの探求
やまぐち ともや 山口 知也	准教授 (PI)	熊本大学大学院先端機構 (併任) 大学院生命科学部 がん生物学分野	癌における膜脂質ダイナミクス制御機構の解 明と創薬開発への応用
わかな ゆういち 若菜 裕一	助教	東京薬科大学 分子細胞生物学研究室	オルガネラ膜接触を介するコレステロール輸 送における SCAP の役割

2017 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」
第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が
存在しないので作成しない。

2018 年 6 月

公益財団法人 小野医学研究財団